

防災備蓄用 非常用電源導入のご提案

 **Sycle MECS**
非常用電源ボックス

Mobile
Emergency
Charging
Station

 **Sycle**
ポータブル電源



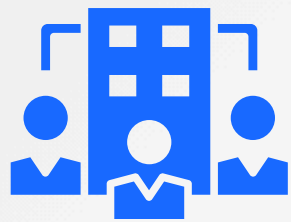
「緊急時の非常用電源を社会インフラとして普及させること。それが私たちのミッションです。」

〒105-0021
東京都港区東新橋 2-9-7 YAHATA 汐留ビル 2F
株式会社TokyoMB ☎03-6432-0406



Sycle は株式会社TokyoMBの登録商標です。

1



商品説明の前に・・・

代理店としてCycleを取り扱うメリット

POINT1

防災商材はここからが勝負
防災庁設置や昨今の災害リスクが追い風に

POINT2

ネット上で一般価格を開示しないので
利益が取りやすく、動きが柔軟に

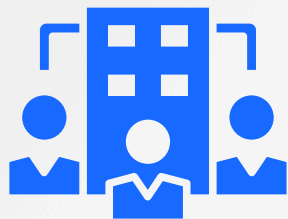
POINT3

2024年販売開始で実績も多数
詳細は後ろのページで



シェアを取るならこの数年が勝負

2



卸し価格をご提示いたします 値段メリットでご検討ください

(税別)

製品ラインナップ	売価イメージ	卸価格	(差額)
Sycleポータブル電源本体	440,000	245,000	195,000
Sycleエクストラバッテリー	165,000	91,000	74,000
非常用電源BOX(M)	1,628,000	800,000	828,000
非常用電源BOX(L)	2,508,000	1,260,000	1,248,000
Sycle 2台用カート	31,500	16,380	15,120
Sycle 防塵防雨ケース	80,000	51,000	29,000

※別途送料やオプション等あり

価格設定の自由度◎

その他、営業トークスクリプトや資料共有可



災害時の備蓄は、水・食料に加えて**電力**が必要



2024年1月1日の能登半島地震では、

石川県内で最大およそ4万戸が停電したとの報告あり

・電力復旧まで最長1ヶ月の地域も。また復旧後も余震の頻発により停電が再発

これまでの備蓄品は・・・



水



食糧



温度対策



衛生用品

今後の備蓄は・・・

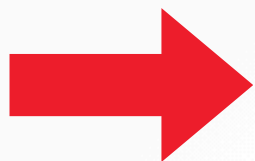
ライフライン維持において、電力確保が必要不可欠な状態。

+

電力

まだまだ未整備な状況

電力備蓄の導入・用意はこれから



様々なシーンでの設置実績 (BOX)



公共施設



オフィスビル



郵便局



エントランス
受付台に



施設管理棟

工場



大学

BOXは電力版AED。非常用電源の見える化で防災コストをポジティブに提案

BCP対策だけでなく色々なシーンで役立つポータブル電源



BOX設置・ポータブル電源販売実績(会社名等)

・公共系

日本橋南郵便局
東京中央郵便局
警視庁災害対策課
警察庁(全国)機動隊等
横浜武道館
福山市本庁舎
大東文化大学、神奈川工科大学
多摩都市モノレール



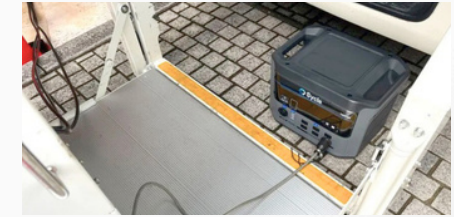
・サービス系、エンタメ系

三越伊勢丹アイムファシリティズ
東武タワースカイツリー
ヴィッセル神戸
(スタジアム、練習場)



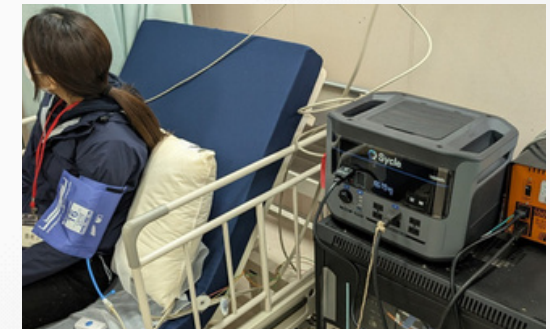
・物流系
事(西濃運輸)
佐川急便 総務部等

・建設系、製造業系
清水建設
多田建設
伊佐建設
IHI



・その他

全国の介護施設、社会福祉施設
不動産管理会社、
ビル・マンションオーナー、
自社工場所所有の製造業
地銀、信金



製品紹介:MECS 非常用電源ボックス & Sycleポータブル電源

必要な電力を、見える形で備蓄

サイズ2種

BOX M

- ・ スマホ約240人分
- ・ ノートPC約40人分
- ・ サーバー用PC約8時間



Sycle ポータブル電源
エクストラバッテリーセット

1 セット



Sycle USB充電器

1 セット

1セット6人で24人同時充電



Sycle
ポータブルソーラー[※]

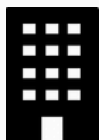
2 枚

1日で本体1台をフル充電



Lightning、Micro USB-A、
Type-B、Type-C 等充電ケーブル

→中規模施設向け



BOX L

- ・ スマホ約480人分
- ・ ノートPC約80人分
- ・ サーバー用PC約16時間



Sycle ポータブル電源
エクストラバッテリーセット

2 セット



Sycle USB充電器

2 セット

1セット6人で48人同時充電



Sycle
ポータブルソーラー

2 枚

1日で本体1台をフル充電



Lightning、Micro USB-A、
Type-B、Type-C 等充電ケーブル

→より多人数
長時間対応向け



×100
も可能

- ・ 必要機器をまとめて保管
- ・ 災害時にすぐ取り出せる
- ・ 平時も所在が明確



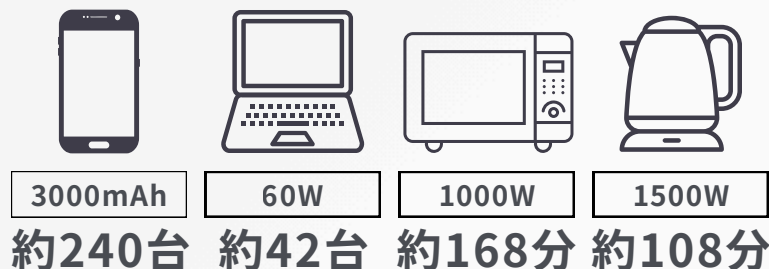
中身は充電設備で満タン

ボックス収納で保管・視認・管理がしやすい!

搭載の製品について ^{サイクル} Sycle ポータブル電源1408Wh

防災備蓄用として選ばれる3つの理由

1 壁のコンセントと同じ1500W出力



2 自然放電がほぼ無し！管理簡単



1年放置でもたった6%の放電

3 電池が安全 & 長寿命でコスパ◎

次世代LFP電池搭載 3000回以上の充電サイクル

500回程度 従来のリチウムイオン電池バッテリー

リン酸鉄リチウムは火災のリスクがほぼゼロ
寿命も長く、毎日使っても8年はほとんど劣化なし



簡単操作で利用可能!

ワンプッシュ

ジャパン・レジリエンス・アワード
「優秀賞」受賞
内閣府国土強靱化計画



品質試験実施済み・各種認証取得

RoHS FC CE UN38.3

他社の防災用途ポータブル電源の比較



ポータブル電源有名3社



	Sycle1408	Jackery 1500 Pro	Anker powerhouse 1536	ECOFLOW RIVER Pro
容量	2816Wh	1512Wh	1536Wh	最大1440Wh
出力	定格1500W USB/DC/AC 最大3000W	1800W 瞬間最大3600W	1500W	600W 瞬間最大1200W
入力	1500W AC DC充電対応 400Wソーラー対応	1800W AC DC対応 ソーラー充電 200W	1500W AC ソーラー充電400W	660W AC ソーラー充電 200W
充電速度	1時間フル充電	約2時間	約2時間	約1.6時間
耐久度	3000回以上の 充電サイクル	2000回以上	3000回以上	800回以上
放電のしにくさ	常時充電不要で、 放電は1年で6%未満	3ヶ月に 1回の充電必須	3ヶ月に 1回の充電必須	3ヶ月に 1回の充電必須
売価	卸価参照	199,800円	189,900円	79,800円 48,400円 合計128,200円

使える性能だけでなく、管理し続けやすいことまで含めて備える。それがSycle MECsの導入価値です。

ボックスの比較

BOX比較

大前提、BOXという形での設置実例はほとんどなく、他社製品などは殆ど無い状態。新しいインフラ整備として、最新の取り組みになります。

商品名	 Sycle MECS BOX	レスキューチャージ	エナジー・プロBOX	E.P.S mobile POWER STATION
外観				
メーカー	株式会社TokyoMB	株式会社TATSUNO	大和無線電機株式会社	EPエンジニアリング株式会社
容量	Mサイズ 2816Wh Lサイズ 5632Wh	320Whまたは 512Whのラインナップ	400Wh	1280Whまたは 2560Whのラインナップ
容量目安	スマホ約500台分	スマホ20台分	スマホ30台分	スマホ80台分
参考上代	100万円～	50万円～	60万円～	120万円～
内容物	急速充電ソーラーパネル 各種充電ケーブル USBハブ、LEDランタン 防災ラジオ、防災TVなど (カスタマイズ可能)	AEDや防災キットは 製品に含まれない 多機能な防災ライトをはじめ、 非常食やハンディトイレなど 様々な防災用品はオプション	LEDランタン、USBハブ USBケーブル、海洋深層水など	電源本体のみ なし (収納機能なし)
ソーラーパネル	200W*2枚セット	100W*1枚セット	ソーラーパネルLBP-100(100W) *1枚セット	ソーラーパネル別売 (オプション)
出力	定格1500W 最大3000W	製品① 定格300W 最大600W 製品② 定格500W 最大750W	定格500W 最大W不明	定格1500W 最大3000W
ボックスデザイン カスタマイズ	自由にデザイン可能			



いざという時に役立つBOX
はSycleだけ!

設置場所に応じた表示・デザイン対応

マンションデザインの例



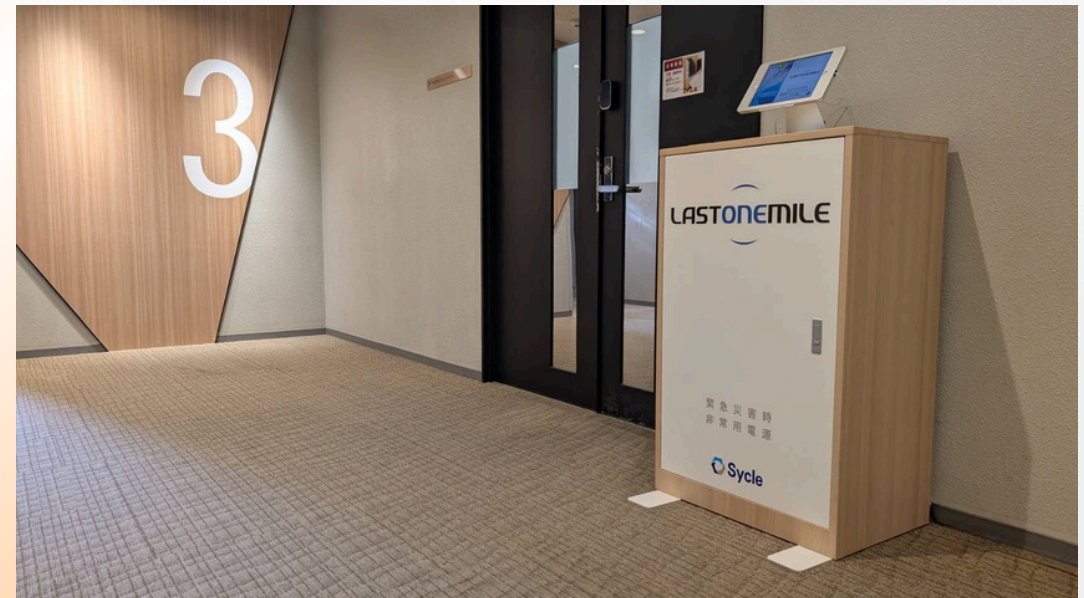
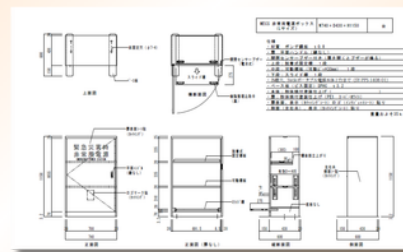
①設置場所や施設用途に応じた表示変更が可能

②非常用電源であることを利用者に分かりやすく表示可能

③施設デザインに配慮した外観調整にも対応

株式会社ラストワンマイル様の事例

オフィスの入口にMサイズを設置。(2025年11月)
来客用の受付台としても活用できるイメージで制作。





よくある質問2026年版

Q.中国製なんですか？

A.はい。ただし既存の流通しているほとんどは中国産です。ただし、弊社では横浜に物流・管理センターを設け、そちらで全数点検、メンテナンス、出荷管理を行っております。

